

GIGAスクールの推進

GIGAスクールの推進に向けた取組

	重点的に取り組む項目	取組内容
1	ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、探究的な学びの充実	<p>【ICTを活用した授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none">・ICT活用推進研究員（インフルエンサー）による各学校の課題に応じた授業支援や指導助言・授業モデル「学びのコンパス」を参考に、ICTを活用した授業実践・指導や校務における活用事例を教育情報ネットワーク上で共有・リーディングDXスクール事業を活用した実践の事例の創出、発信 <p>【児童生徒の情報活用能力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none">・児童生徒の情報活用能力育成に関する教員研修
2	ICTを活用した多様な子どもへの対応	令和6年度第1回総合教育会議資料（不登校の子どもへのサポート）、令和6年度第2回総合教育会議資料（特別支援教育の充実）で掲載
3	ICTを活用した教職員が働きやすく「働きがい」のある学校の実現	<ul style="list-style-type: none">・デジタル採点支援システムの全中学校への導入・活用・指導や校務における活用事例を教育情報ネットワーク上で共有（再掲）・教職員による学習・校務での生成AI活用

GIGAスクールの推進に向けたスケジュール

重点的に取り組む項目	令和6年度 前期	令和6年度 中期	令和6年度 後期	令和7年度
<p>1. ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、探究的な学びの充実</p>	<p>ICT活用推進研究員（インフルエンサー）による各学校の課題に応じた授業支援</p> <p>授業モデル「学びのコンパス」の周知</p> <p>指導や校務における活用事例を教育情報ネットワーク上で共有</p> <p>リーディングDXスクール事業指定校でのICTを活用した授業実践</p> <p>情報ICT化担当教員研修</p> <p>情報活用能力指導研修</p>	<p>情報ICT化担当教員研修</p> <p>デジタルシティズンシップ教育の研修</p>	<p>実践事例を報告・共有</p> <p>情報ICT化担当教員研修</p>	<p>「学びのコンパス」に基づく一体的な授業改善を推進</p> <p>情報ICT化担当教員研修</p> <p>情報活用能力指導研修</p>
<p>2. ICTを活用した多様な子どもへの対応</p>	<p>令和6年度第1回総合教育会議資料（不登校の子どもへのサポート）、令和6年度第2回総合教育会議資料（特別支援教育の充実）で掲載</p>			
<p>3. ICTを活用した教職員が働きやすく「働きがい」のある学校の実現</p>	<p>事業者選定・契約</p> <p>システム操作研修</p>	<p>全中学校でのデジタル採点支援システムの導入・活用</p> <p>指導や校務における活用事例を教育情報ネットワーク上で共有</p> <p>教職員による学習・校務での生成AIの活用</p>		

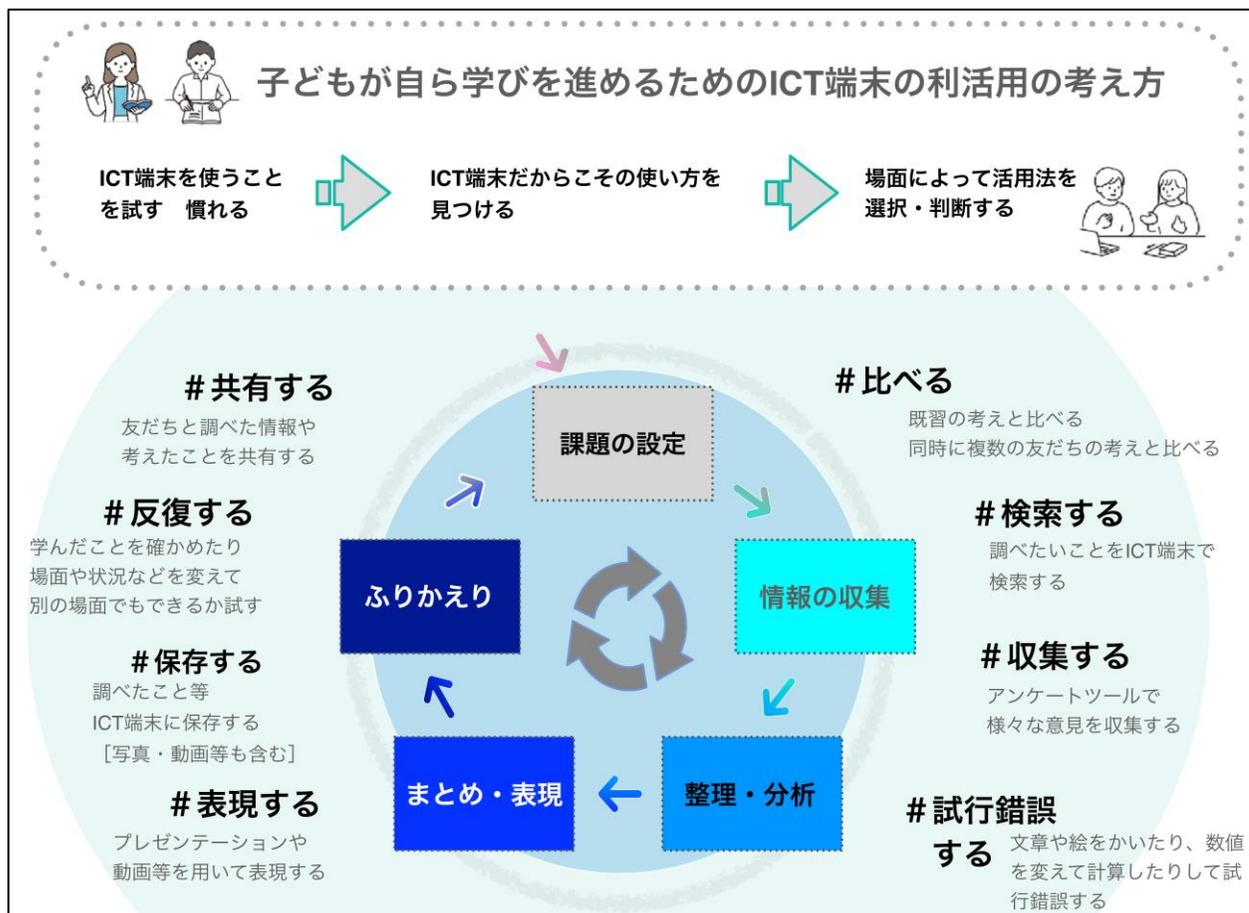


- 小、中学校の教員7人（小学校4人、中学校3人）を学校に配置。
- 週1回各校を訪問し、伴走支援
- 授業参加による教員のサポート
- ICT活用に関する教員からの相談対応、助言
- 校内でのICT活用研修



今年度は、授業モデル「探究×ICT」を活用した授業改善の取組と連携し、
学びの研究員（学びのインフルエンサー）と協力して伴走支援を実施

授業改善のための資料「学びのコンパス」を参考に、子どもが自ら学びを進めるためのICT活用を実践



【児童生徒用パソコンの活用例】

課題の設定

課題を友だちと「共有する」

情報の収集

様々な情報を「収集する」

整理・分析

考えながら「試行錯誤する」

まとめ・表現

調べたことや考えを「表現する」

ふりかえり

学んだことを「反復する」

主な取組 (指導や校務における活用事例を教育情報ネットワークで共有)

重点的に取り組む項目1

各学年・教科の指導や校務におけるICT活用事例 約200件を教育情報ネットワークのサイトに掲載し、教員間で共有し、学校での実践につなげる



社会科 世界地理の活用事例

★定期テスト終了後のやり直しを、紙媒体ではなく、発表ノートを活用した取り組み紹介

自分が解いたテストを見て、自分が理解を深めている単元や苦手だった単元を分析
⇒発表ノート(白紙)にさらに自分の理解を深めたい単元を選択し、まとめる。
その後、班ごとに発表ノートのグループワーク機能を活用し、班で共有。

メリット
個人の復習を深める時間も確保でき、それをグループワーク機能を活用し共有することで効率よく単元の復習をすることができる。様々な角度から振り返りを行うことができる。

生徒Aのノート | 生徒Bのノート

イスラム教について | テーマ…世界の気候

世界の様々な気候
世界には、大抵5つほどの気候帯に分けられる(熱帯・亜寒帯・温帯・寒帯・極寒帯)。その気候帯の中でも、3つ以上の気候帯に分けられる。

温帯 亜寒帯 寒帯
四季の気候は、春・夏・秋・冬の4つに分けられる。冬は寒いし、夏は暑い。→冬は寒い、夏は暑い。→冬は寒い、夏は暑い。→冬は寒い、夏は暑い。

発表者以外の生徒はワークシートに学んだことを記入。

会議でのチャットの活用について

学校ICT化は教職員の校務から！
学校園で利用する教職員Teamsが「資料の共有」のみの活用になっていませんか？
ペーパーレス化に進むことができた次は、「クラウドを活用した協働的な職員会議」の実施にステップアップしてみましょう！

方法は簡単！「新しい投稿」を押して記入したことを送信するだけ！

会議中における企画案件に対して、

- ・ 気になった点
- ・ 大切だと思った点(キーワード)
- ・ 提案者に対しての「質問」など

これらをチャット機能を活用して、みんなでシェアをしていきませんか？

堺市ICT活用研究員
インフルエンサー
堺市立福原小学校 大橋直之

中学校社会での活用事例

校務での活用事例

主な取組

(リーディングDXスクール事業を活用した実践事例の
創出・発信、情報活用能力育成に関する教員研修)

重点的に取
り組む項目1



文部科学省リーディングDXスクール事業の指定校（小・中・高各1校）において、ICTを活用した授業等の実践事例を創出し、全国や市内の学校園に広く発信・共有



授業支援ソフトを活用して児童生徒の発表内容を共有
(小学校)



グループ学習での学習課題の検討に生成AI を活用
(中学校)

○情報活用能力育成に関する教員研修

小中9年間を見通した情報活用能力の育成を図るため、教員研修における中学校区での実践交流や情報モラル・デジタルシティズンシップ教育等に関する研修を継続して実施

令和6年9月から全市立中学校に導入し、順次活用を開始

生徒の解答用紙を電子データ化し、教員の画面上での採点を支援するシステム

【模範解答・配点の設定】

教員が作成した紙の解答用紙と模範解答を電子データ化。配点を設定しておくことで、採点結果を自動で集計。

【自動採点機能】

選択肢（カタカナ・アルファベット・数字）、○×、マーク式、数式などの解答を自動で採点

※記述式も、画面上で解答一覧を比較して教員が採点することにより事務効率が向上



※解答用紙設定画面イメージ



※採点画面イメージ

主な取組（全中学校でのデジタル採点支援システムの導入・活用）

重点的に取り組む項目3



【電子データで答案を返却】

- ・採点後の答案は各生徒の専用画面に電子データで返却
- ・生徒は児童生徒用パソコンから、過去の答案データを開覧することが可能
- ・教員はクラス等の成績結果をグラフ等で分析可能

答案確認：理科-中1 1学期中間考査 戻る

				得点
学年	クラス	番号	名前	65点
中1	1	1	stu0101	/100点

1学期中間考査 理科

11	12	13	14	15	16
レンズ	✓	✓	×	鏡	猪眼レンズ
対物レンズ	✓	✓	△	見つけやすくなるため	

テストの成績

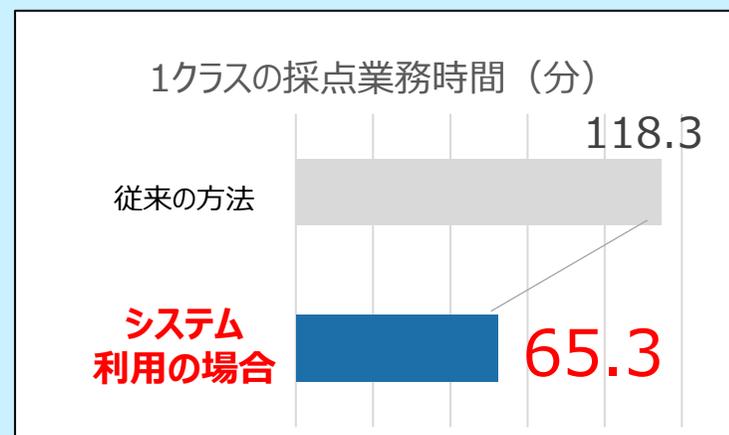
年度： 2023年度 教科： すべての教科

全1件中 1~1件を表示 [前へ] [1] [次へ]

テスト名	教科・科目	受験日	返却日	
1学期中間試験sato	理科	-	2023年8月21日	答案を見る 成績

※生徒用画面イメージ

令和5年度 中学校3校に試験導入した結果、採点時間が削減



※教員へのアンケート調査結果

採点時間が、**53分削減**
(約45%)

・堺市立学校園生成AI利用ガイドライン（教職員向け）を策定（令和6年3月）

生成AIの特徴や有効性、リスクや利用の基本ルールや留意事項について教職員に周知

・学校園における教職員の生成AIの利用を開始（令和6年4月～）

教員アカウントで使用できるMicrosoft Copilotを授業や校務に活用

【Microsoft Copilotの特徴】

- ・プロンプト（指示や質問）や回答は、生成AIに保存されない。
- ・生成AIを利用している内容をMicrosoft社も閲覧できない。
- ・チャットのデータは、生成AIの機械学習に使用されない。

教育データや利用者の個人情報の保護を確保しつつ
生成AIの活用が可能

【校務における生成AI有効活用の例】

- ・学校行事招待文、プログラム、挨拶文、お知らせ文書などの検討
- ・議事録の要約や外国語訳の確認
- ・授業計画の作成のアイデア検討や最適化
- ・教務関係業務のファイル作成、自動化の検討など

【今後の取組の方向性】

- ◆ 学校現場における教職員の校務での生成AI活用事例を教育情報ネットワークのサイト等で共有
- ◆ リーディングDXスクール事業指定校（生成AIパイロット校）における校務等での生成AI活用事例を市内の学校に発信・共有
- ◆ 文部科学省が進めている「生成AIの利用の暫定的なガイドライン」改訂の動向の把握、教員研修への反映

【学校のネットワークに対する意見】

問) 新しいパソコンにどのようなことを希望しますか (複数回答可)

<児童生徒>

<教職員>

画面の動きや通信速度が速い 63.1%

破損や故障が少ない 70.8%

軽い 52.8%

画面の反応や電源を入れてから 60.0%

使い始められるまでが速い

電源を入れたらすぐに使える 46.7%

軽い 53.9%

(令和6年10月 児童生徒WEBアンケート・教職員WEBアンケート結果)

令和7年度 児童生徒用パソコンを更新予定

端末と校内ネットワーク機器の更新に向けて検討

- ◆ より使いやすく (より軽く、取り扱いしやすい端末)
- ◆ より管理しやすく (丈夫で故障が少なく、端末管理が容易)
- ◆ より快適で安定した通信 (起動や通信がより速く快適)

※児童生徒用パソコンの利用にあたり、学校からは通信環境が不安定との意見があることから、令和6年度に小・中学校4校でネットワーク調査を実施し、ネットワーク改善に向けた方策を検討